

公共調達に適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品・役務等)
及び公益法人に対する支出の公表・点検の方針について(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく情報の公開

令和元年度契約

物品役務等の名称及び数量	契約担当者等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	随意契約によることとした業務方法書又は会計規定等の根拠規定及び理由	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	公益法人の場合			備考
									公益法人の区分	国認定、都道府県認定の区分	応札・応募者数	
委託研究「BSES(生物学的同時酵素生産糖化)プロセス開発と好熱嫌気性水素生産菌の分離」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成31年4月1日	キングモンクット大学 (タイ国)	当該研究機関は、セルロース分解菌の研究で多くの実績を持つだけでなく、第3期中期計画バイオマスプロジェクトにおいてBSESプロセス構築に中心的な役割を果たし、数多くの学術共著論文を共同執筆したのに加え、分析機器や資材の整備、人材育成、技術指導等、長年にわたる研究協力の蓄積を有している。本委託研究に係る技術は、当該研究機関との共同出願特許(特許第5083735号、特許出願番号2014-144610)を基盤としており、他機関への委託研究は知財管理上、困難である。また、βグルコナーゼ生産菌との共培養システムも知財権利化の可能性が高く、他機関への委託研究は困難である。さらに同技術を応用したキャッサバパルプからのバイオガス生産事業においても日本企業を含めた共同研究を行っている。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	2,000,000	-					
委託研究「PHB肥料試験およびPHB施肥量の検討」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成31年4月1日	カセサート大学 (タイ国)	当該研究機関とは、以前からキャッサバパルプからのエタノール生産についての共同研究を行い、企業間との交渉や、キャッサバ工場訪問、また栽培農家へのインタビューなど多岐にわたる協力により、エタノール発酵酵母開発を達成し、発酵技術や微生物培養におけるノウハウ、生化学的手法など技術移転や人材育成を行ってきた経緯がある。 第4期は、PHB(ポリヒドロキシ酪酸)生産技術開発について研究が進行しており、上記経緯を含め機器、機材、人材活用の点から、他の研究機関で一から構築し直すのは非効率的で、短期間での課題推進は望めないと考えている。さらに本課題の目指す、農作物への圃場試験においてはタイ農業局への協力要請も不可欠であり、その点、本研究機関は農業局との繋がりも深いことから、将来的な研究展開にも対応可能と考えている。以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。 会計規程第38条第1項第1号	-	2,000,000	-					
委託研究「生物的硝化抑制(BNI)能が異なるブラキアリア牧草栽培圃場での後作トウモロコシ生育への影響解析」	国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 岩永 勝 茨城県つくば市大わし1-1	平成31年4月1日	国際熱帯農業センター(CIAT) (コロンビア国)	当該研究機関は、国際農業研究協議グループ(CGIAR)傘下の研究機関であり、JIRCASとは長年にわたり多くの分野で共同研究を実施してきた。また、熱帯飼料作物であるブラキアリア牧草の国際的研究拠点であり、ブラキアリア牧草でのBNI研究についてもJIRCASと長年にわたり協力してきた実績がある。委託研究の実施においても研究管理に高い能力を有し優れた成果を出している。 さらに、ブラキアリア牧草が主に南米で栽培されていることから、研究成果の直接的な適用を考えれば、現地のコロンビアにおいて本研究を実施することは非常に有効である。 昨年までBNI能の異なるブラキアリア牧草を前作として栽培し、本年度はブラキアリア牧草を除去し、そのBNI能が後作のトウモロコシ栽培にどの様に影響するのかを解明するものであり、研究の継続が必要である。 以上の理由から、当該機関を委託先として選定した。	-	2,237,000	-					

※公益法人の区分において、「公財」は、「公益財団法人」、「公社」は「公益社団法人」、「特財」は、「特例財団法人」、「特社」は「特例社団法人」をいう。

(注) 必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。